

# 剪 淞 吟 社 年 表

入 谷 仙 介

## はじめに

剪淞吟社は明治36年（1903）から、昭和21年（1946）まで松江に存在した漢詩結社である。はじめ、当時、中央漢詩壇の盟主格であった有力詩人、森槐南（1863-1911）が出雲へ来たのをきっかけとして結成され、最初は銀行家や中級官吏、医師など地域の漢詩を愛好する有力者のクラブ的な存在であったが、最初から、すでに衰退のきざしのあった漢詩と漢学的教養の前途を憂え、この振興を計るという目的意識を持ち、そのための活動を続け、大正4年（1915）には、宍道湖上の嫁が島に、永坂石埭「嫁島棹歌」の詩碑を建立、越えて6年には機関誌「剪淞詩文」を発刊、全国的に社員を広げ、大正末年から昭和初年の最盛期には、東は東京から西は大分県中津に到る、百数十人の社員を擁し、一時的ながら、松江が全国的な漢詩復興運動の一拠点の観を成した。吟社も山陰詩人大会の開催、市民対象の教養講座の開催、郷土先賢の掘り起こしと顕彰など、文化事業に力を注ぎ、漢詩を作らない文化人たちからも支援された。しかし、昭和に入り、指導者の相次ぐ死と、詩人の力量低下とがあいまって、衰退に向かい、昭和7年、社長村上琴屋（1861-1932）の死を引き金として、崩壊に向かい、昭和10年を最後に山陰詩人大会を中止し、機関誌を停刊、以後は生き残りの老詩人のクラブとして、結成当初の姿にもどり、細々と詩会を楽しんでいたが、太平洋戦争とともに、それもできなくなり、昭和21年最後の指導者、堀美峰（1872-1946）の死により、自然消滅した。

機関誌「剪淞詩文」は143編まで刊行され、全バックナンバーのそろっている所はないが、島根大学付属図書館、島根県立図書館、境港市立図書館の3館にそれぞれ約三分之一を蔵する。個人で部分的に所蔵している人もある。島根大学所蔵本は未確認であるが、吟社最末期まで踏みとどまった松江の詩人、青山松琴の遺蔵と思われる。県立図書館本は吟社より刊行時に寄贈されたものである。同館は、吟社社員であった木幡黄雨（1867-1909）の創設した私立松江図書館が松江市に移管され、さらに県に移管されたという経過があり、市立時代には詩会の会場に使用されたこともあって、吟社との関係は相当に密接であった。境港にあるのは、社員で弓浜地域の医師、渡辺秋涛（1868-1932）の旧蔵書である。入谷は3館の所蔵にもとづき、いずれにも無い1編を大原郡の某家の蔵本により補って、全編を複写してセット3部を作成、一部を研究用に架蔵し、島根大学と県立図書館とに、それぞれ1部ずつを納めた。したがって今では創立以来、昭和10年

に到る、吟社の活動の全貌を知ることができる。10年以後については、堀美峰が詳細な記録を残している。

剪淞吟社はこのように記録がよく残されていて、活動の実態を知ることができ、山陰地方の地域文化に対して大きな貢献をしており、その記録は、明治期を通じて、なお全国的に広く親しまれていた、漢詩という文芸の衰退過程を知るための貴重な資料である。

吟社の活動の全貌を時代を追って、跡づけるために年表を作成した。山陰文化史の一資料として、活用していただければ幸いである。

## 凡 例

1. 剪淞詩文及び堀美峰が残した記録を主とし、「随鷗集」「島根県史年表」その他の資料を部分的に参照した。
2. 年齢は数え年による。
3. 著作物は社員の著作を主とし、関係者、島根・鳥取両県人の漢詩文関係の著作も掲げた。
4. 寺院・料亭などで松江に所在するものは、松江を省略した。
5. 吟社の集会のナンバー及び、剪淞詩文の号数は吟社の表記に従い、漢数字を用い、他はローマ数字を用いた。
6. 詩会などの会場について、原表記が不統一なもの、同一の場所と思われるが確認できなかったものは、原表記に従い、あえて統一しなかった。
7. 山陰詩人大会、山陰大詩会は山陰詩人大会に統一した
8. 谷口廻瀾は始め黙溪、ついで回瀾、廻瀾と改号したが、廻瀾に統一した

明治33（庚子、1900）

11. 8 松江の不休吟社を鷗鷺吟社と改称、発会

34（辛丑、1901）

5. 22 内村鱸香没、81歳

7. 10 松陽新報創刊

35（壬寅、1902）

1. 30 日英同盟条約調印

2月 阪鶴丸、安来舞鶴間に就航

この年、横山耐雪『木堤唱和集』刊行

36（己卯、1903）

2. 6 若槻克堂（礼次郎）『槻陰遺稿』（若槻槻陰詩集）刊行
3. 15 森槐南松江到着
3. 22 剪淞吟社創立詩会を松崎水亭で開催、鷗鷺吟社合流、社員横山耐雪・村上琴屋・三嶋睡雨・井川収軒・信太淞北・渡部桃蹊・西川潜斎・中島秋圃
3. 24 槐南、境港出発、東京に帰る
4. 1 島根県女子師範学校創立
4. 10～5. 31 出雲大社臨時大祭
4. 20 第二集、松江殿春園（殿町西川潜斎宅）
- 4月 井川双岳入社
- 5月 木幡黄雨入社
- 6月 安涵斎入社、唯一の韓国人社員
6. 7 第三集、松崎水亭
7. 28 第四集、松江図書館
- 夏 井川双岳等大山登山
10. 5 中秋 第五集 松崎水亭
- 12月 第六集
- 37（庚辰、1904）
1. 9 第七集 信太淞北石見赴任送別会、春陽館
- 1月 淞北、益田税務署長
2. 10 日露戦争開戦
5. 8 第八集 望湖楼
9. 10 第九集 湖北楼
9. 24 第十集 中秋観月詩会、松崎水亭
9. 26 小泉八雲没、54歳
- 38（乙巳、1905）
1. 2 旅順開城
1. 29 第十一集、臨水亭
2. 17 松江和多見大火
- 2月 信太淞北、宇都宮転任
- 春 安涵斎退社
2. 26 藤脇松軒、新潟から上京、江木冷灰の檀樂会に出席
3. 10 奉天会戦
- 3月 横山耐雪上京、途中月ヶ瀬に観梅

3. 21 森槐南、横山耐雪を東京八百松楼に招宴
4. 3 随鷗吟社第1回大会 八百松楼、横山耐雪出席
5. 27・8 日本海海戦
- 5月 第十二集 木幡黄雨朝鮮旅行送別会、臨水亭？
8. 25 永井可石、備中高梁で『定余吟草』刊行
9. 11 ポーツマス日露講和条約調印
9. 13 第十三集 中秋観月詩会、松崎水亭
- 39 (丙午、1906)
- 2月？ 信太淞北、横浜転任
5. 28 井川収軒・渡部桃蹊『含齋詩存』（沢野含齋詩集）刊行
7. 21 第十四集、松崎水亭
8. 19 第十五集、宍道独楽窩（木幡黄雨山荘）
- 8月 信太淞北、富士登山
10. 2 第十六集、中秋観月詩会、松崎水亭
- 40 (丁未、1907)
5. 22 皇太子、松江行啓
5. 26 皇太子、宍道の木幡黄雨邸で昼食休憩、吟社員の奉迎事業に関わる者多し
- 5月 皇太子山陰行啓に際し竹内峴南編『因伯詩存』献上、
8. 30 第十七集、独楽窩
- 41 (戊申、1908)
- 3月 田代活処・井上井蛙入社
4. 5 松江米子間鉄道開通
5. 16 横山耐雪『東游吟稿』刊行
9. 10 第十九集、中秋観月詩会、松崎水亭
11. 22 第1回山陰詩人大会、米子錦公園
- 42 (己酉、1909)
2. 6 新年雅集、松崎水亭
3. 12 曼陀亭聯句
4. 10 山舒水緩処聯句
4. 20 第十八集
5. 8 第2回山陰詩人大会、松崎水亭
6. 7 山舒水緩処聯句
7. 18 田辺碧堂・柚木玉村歓迎詩会、宍道十千年荘（木幡黄雨別荘）

- 9. 29 中秋観月、井川収軒歡送例会、相宜亭
- 10. 26 伊藤博文、安重根にハルビン駅で暗殺され、随行の森槐南重傷
- 10. 31 宝杜詩龕聯句（村上琴屋宅）
- 11. 22 木幡黄雨没、43歳

この年、信太淞北名古屋転任、伊藤盤南今市島根県女子師範赴任

43（庚戌、1910）

- 1. 4 井川双岳没
- 1. 11 三嶋睡雨没
- 2. 4 殿春園聯句
- 4. 8 村上琴屋、隠岐赴任
- 8. 22 韓国併合
- 9. 18 中秋、寄懐琴屋詩

44（辛亥、1911）

- 1. 18 大逆事件判決、幸徳秋水等死刑
- 3. 7 森槐南没、49歳
- 5. 28 第3回山陰詩人大会、安来清水寺
- 9. 1 村上琴屋・横山耐雪・西川潜斎、宍道湖舟遊
- 10. 7 第4回山陰詩人大会、境錦水楼
- 10. 10 清国辛亥革命
- 11月末から12月上旬 横山耐雪上京

45・大正1（壬子、1912）

- 1. 1 中華民国成立、孫文初代大総統、この年を中華民国元年とする
- 3月 西川潜斎没
- 6月 大社今市間鉄道開通、山陰線京都まで全通
- 7. 13 大江卓・田辺松坡歓迎会、松崎水亭
- 7. 28 勝島仙坡・大沢鉄石歓迎会、松崎水亭
- 7. 30 明治天皇没61歳、大正天皇踐祚
- 8. 22-25 勝島仙坡、雲南来遊
- 9. 3 垂虹亭詩会
- 9. 13 明治天皇葬儀、乃木希典夫妻殉死
- 11月 永坂石埭、山陰来遊
- 11. 10 青垣吟社結成
- 11. 15 石埭歓迎詩会 松崎水亭

11. 17 第5回山陰詩人大会 鳥取東郷温泉  
11月 並河適処・渡辺秋涛・大淵蕉雨・藤脇松軒・本田思齋入社  
12. 12 若槻克堂、第三次桂太郎内閣の大蔵大臣

2 (癸丑、1913)

2. 11 護憲運動により桂内閣総辞職  
5. 15 松心榭詩会 (横山耐雪宅)  
6. 4 耐雪、藤脇松軒初対面、村上琴屋同座、八束郡役所  
7. 20 香草詩龕詩会  
9. 15 中秋月食詩  
11. 22 観楓詩会、松崎水亭  
年末 横山耐雪上京、翌年初頭まで滞在  
この年、大社養神館で第6回山陰詩人大会

3 (甲寅、1914)

1. 18 横山耐雪随鷗吟社第94回例会 (上野三宜亭) に出席  
1. 20ごろ耐雪、名古屋に信太淞北を訪問、帰郷  
1. 22 横山耐雪帰郷歓迎詩会、松崎水亭  
1月 三島中洲『延寿千年集』(木村夢春米寿祝賀詩歌集) 序  
4. 16 若槻克堂、第二次大隈重信内閣大蔵大臣  
6. 9 垂虹亭聯句  
6. 10 松崎水亭聯句  
6. 28 オーストリア皇太子暗殺され、第一次大戦勃発  
8月 伊藤黙齋入社  
8. 21 杉溪六橋歓迎詩会 松崎水亭  
10. 4 中秋観月詩会 松崎水亭  
11. 15 第7回山陰詩人大会、鳥取市公会堂  
11月 信太淞北、藤枝転任、さらに九州に転ず

4 (乙卯、1915)

1. 4 新年詩会 含翠園  
1. 5 香草詩龕聯句  
1. 18 対支二十一ヶ条要求  
2. 6 双葉窩詩会  
3. 13 松田淞雨上海到着、長江を遡り宜昌に達し上海に帰り、杭州に遊ぶ  
3. 20 伊藤黙齋歓送詩会、臨水亭?

- 3月 信太淞北、阿蘇登山
4. 18 第8回山陰詩人大会、倉吉打吹公園不老園
5. 30 永坂石埭、小廬山觀瀑（温泉村北原耐雪本宅）
5. 31 淞雨、長崎帰着
6. 4 嫁が島に石埭詩碑を建立
6. 5 嫁が島建碑記念石埭歡迎詩会、松崎水亭
11. 10 大正天皇即位式
- 佐藤愛山『彩霞集』（古稀慶祝詩歌句集）刊行

5（丙辰、1916）

1. 21 伊藤盤南、小廬山觀瀑
4. 11 渡部桃蹊退休祝賀詩会、臨水亭
- 5月 渡部桃蹊朝鮮旅行
- 渡辺淳三『松雲余光』（渡辺春坡還曆慶祝詩歌集）編
6. 24 舟遊詩会、松崎水亭
8. 4 荒木看雲歡迎舟遊
- 9月 松田淞雨、伊勢紀南旅行
10. 4 大隈内閣総辞職
10. 8 第9回山陰詩人大会、玉造無事庵
10. 9 夏目漱石没、50歳
10. 20 伊藤黙齋ら小廬山觀瀑

6（丁巳、1917）

- 3月 谷口廻瀾入社、本田思齋・伊藤黙齋県外転出
3. 2 思齋・黙齋歡送詩会、臨水亭
3. 12 ロシア二月革命、帝政廢止される
3. 14 石橋喜雨『清福集』（渡部桃蹊還曆慶祝詩歌集）刊行
- 4月 村上琴屋上京
5. 12 合宿詩会、華藏寺
5. 25 剪淞詩文、第一編発行、編集横山耐雪、印刷木次活版所
7. 6 皇太子裕仁親王、大社松江行啓
7. 7 剪淞詩文、第二編発行
- 夏 盤南、徳島に転任
9. 30 剪社創立十五周年記念中秋觀月詩会、松崎水亭
10. 30 剪淞詩文、第三編発行

- 11. 1 『剪淞集』巻一刊行
  - 11. 7 ロシア十月革命、ソビエト政府成立
  - 11. 25 第10回山陰詩人大会、米子錦公園
  - 12. 9 餐秀楼詩会（渡辺桃蹊宅）
- 7（戊午、1918）
- 1. 31 剪淞詩文、第四編発行
  - 2. 24 観梅詩会、百本梅花屋（法吉井上井蛙宅）
  - 2月 伊藤盤南、阿波南部旅行
  - 3. 24 西浜館詩会（松江殿町）
  - 4. 19 剪淞詩文、第五編発行
  - 5. 5 第11回山陰詩人大会、松崎水亭
  - 5. 14 村上琴屋・渡部桃蹊、井上井蛙訪問
  - 5. 25 剪淞読詩会、木次臨水閣
  - 7. 5 剪淞詩文、第六編発行
  - 7. 24 村上琴屋退休祝賀及び琴屋藤脇松軒歓送詩会、松崎水亭
  - 8. 2 シベリア出兵
  - 8. 3 米騒動全国に起こる
  - 9. 29 原敬政友会内閣成立、政党内閣始まる
  - 10. 31 剪淞詩文、第七編発行
  - 11. 11 ドイツ降伏、第一次大戦終結
- 8（己未、1919）
- 1. 6 垂虹亭詩会
  - 2. 14 剪淞詩文、第八編発行
  - 4. 7 剪淞詩文、第九編発行
  - 5. 10 法吉、滴翠山房詩会
  - 6. 8 第12回山陰詩人大会、東郷温泉養生館
  - 6. 19 影山堂詩会（旅館、殿町）
  - 6. 28 ベルサイユ条約調印
  - 7. 25 剪淞詩文、第十編発行
  - 7月 私立松江図書館、市立となる
  - 9. 15 並河適処『勉斎遺稿』（山村勉斎詩文集）を刊行
  - 10月 横山耐雪上京
  - 10. 20 剪淞詩文、第十一編発行



12. 6 垂虹亭詩会
12. 30 剪淞詩文、第十二編発行
- 9 (庚申、1920)
1. 6 垂虹亭詩会
1. 10 国際連盟成立
1. 30 剪淞詩文、第十三編発行
- 1月 社長(村上琴屋)、編纂主任(横山耐雪)、幹事4名など役員を置き、社規を定める
3. 30 剪淞詩文、第十四編を發行
- 3月 名誉社員4名 正社員24名、同志54名
5. 21 三谷耕雲歓迎詩会 松江対仙閣(松崎水亭)
5. 30 剪淞詩文、第十五編発行、本編から題字に木版による書写体を用いる、信太淞北筆か
5. 30 第13回山陰詩人大会、今市遠藤氏祥雲閣
7. 30 剪淞詩文、第十六編発行
10. 20 剪淞詩文、第十七編発行
- 10月 松田淞雨『禹域游艸』刊行
11. 30 剪淞詩文、第十八編発行、印刷所を木次活版所から松江市岡活版所に変更、以後、木次・市岡両活版所を併用
- 10 (辛酉、1921)
1. 6 対仙閣詩会
1. 30 剪淞詩文、第十九編刊行
- 1月 横山耐雪、肺炎罹患
2. 2 山本碧湾没、55歳
2. 28 柚木玉村、横山耐雪訪問
- 2月 『出雲詩綜』刊行
3. 18 剪淞詩文、第二十編発行
3. 19 横山耐雪、手校本『出雲詩綜』を市立松江図書館に寄贈
4. 24 青垣吟社十周年記念大会、今市観月亭
4. 30 剪淞詩文、第二十一編発行
- 4月 藤脇松軒、簸川郡長退任、青垣吟社送別詩会、東山観月亭
5. 8 第14回山陰詩人大会、境幾多楼
5. 15 大西蓬莱『北海游草』刊行
5. 31 剪淞詩文、第二十二編発行

- 6. 28 剪淞詩文、第二十三編発行
- 6. 30 剪淞詩文、第二十四編発行
- 7. 31 剪淞詩文、第二十五編発行
- 8. 13 剪淞詩文、第二十六編発行
- 9. 5 剪淞詩文、第二十七編発行
- 9. 11 柚木玉村、中国旅行出発、十二月帰国か
- 9. 16 第四十八集、松崎水亭、雨森精翁四十年忌追悼詩会
- 9. 20 渡部桃蹊、浜田に遊ぶ
- 9. 30 剪淞詩文、第二十八編発行
- 9月 信太淞北、中津より大分に転任
- 10. 13 横山耐雪、浜田に遊ぶ
- 10. 13 剪淞詩文、第二十九編発行
- 10月 ワシントン軍縮会議
- 11. 13 鰐淵寺観楓会
- 11. 27 河原翠園追悼詩会、平田大林寺
- 11. 30 剪淞詩文、第三十編発行
- 11月 藕華薦筵
- 12. 10 ワシントン条約調印
- 12. 31 剪淞詩文、第三十一編発行
- この年、後藤松堂、長春堂開業？
- 11 (壬戌、1922)
- 2. 1 剪淞詩文、第三十二編発行
- 2. 25 『剪淞集』卷二刊行
- 3. 1 剪淞詩文、第三十三編発行
- 3. 3 山路石颯、益田に遊ぶ
- 3. 4 石颯、津和野帰省
- 3. 7 石颯、浜田に帰る
- 3. 22 第四十九集、剪淞吟社二十年大会、松崎水亭
- 4. 1 剪淞詩文、第三十四編発行
- 4月 勝部其樂喜寿宴、湯の川温泉
- 5. 15 剪淞詩文、第三十五編発行
- 5. 18 松江高等学校開校
- 5. 24 第五十集、村上琴屋歓迎詩会、松崎水亭

- 6. 21 藤脇松軒没「絶命詩」
- 6. 10 剪淞詩文、第三十六編発行
- 7. 1 剪淞詩文、第三十七編発行
- 7. 9 森鷗外没、61歳
- 7. 15 日本共産党結成
- 8. 1 剪淞詩文、第三十八編発行
- 8月 若槻克堂、松江入り
- 9. 1 剪淞詩文、第三十九編発行
- 9. 3 第五十一集、藤脇松軒追悼詩会、奥谷桐岳寺
- 9月上旬 横山耐雪病臥
- 9月 伊藤盤南、山東・満洲旅行、10月徳島に帰る
- 10. 1 剪淞詩文、第四十編発行
- 10. 3 第15回山陰詩人大会、松崎水亭
- 10. 5 中秋無月
- 10. 7 杉原満龍、日登大林寺より山佐妙楽寺に転住
- 10. 24 第五十二集、松崎水亭
- 10月 高橋菊径・渡部桃蹊上京  
青垣吟社孔子祭、今市延命寺
- 11. 1 剪淞詩文、第四十一編発行
- 11. 15 青垣吟社、鰐淵寺観楓
- 12. 1 剪淞詩文、第四十二編発行
- 12. 3 (旧暦10月15日) 第15回山陰詩人大会、松崎水亭
- 12月 田部髯龍、豊州に遊ぶ  
信太淞北、松江に退休

12 (癸亥、1923)

- 1. 1 剪淞詩文第四十三編発行
- 1. 14 青垣吟社、太林寺観梅詩会
- 1月 村上松村没、70歳
- 2. 1 剪淞詩文、第四十四編発行
- 2. 4 信太淞北・高橋菊径・横山耐雪、渡部桃蹊訪問
- 2. 8 髯龍、豊州の游より帰る
- 3. 1 剪淞詩文、第四十五編発行
- 3月 福間竹雨上京

4. 1 剪淞詩文、第四十六編発行
4. 15 青垣吟社、塩冶神門寺詩会
4. 19 横山耐雪、田代活処訪問
4. 8 第五十三集、信太淞北退休歡迎詩会、松崎水亭
4. 18 (旧曆3月3日) 第16回山陰詩人大会、城崎沂雲閣
5. 1 剪淞詩文、第四十七編発行
6. 1 剪淞詩文、第四十八編発行
6. 21 藤脇松軒一周忌追悼詩会、暢叙軒
6. 29 渡部桃蹊・信太淞北・横山耐雪、高橋菊径訪問
7. 5 野村素軒歡迎会、臨水亭
7. 21 勝島仙坡歡迎詩会、松崎水亭
7. 1 剪淞詩文、第四十九編発行
8. 1 剪淞詩文、第五十編発行
8. 26 横山耐雪没、56歳
9. 1 関東大震災  
剪淞詩文、第五十一編発行、本号以後印刷所市岡活版所に定着
9. 25 第五十七集、菊径・谷口廻瀾・田部髯龍・横山元熙、桃蹊訪問、中秋觀月
10. 1 剪淞詩文、第五十二編発行
10. 13 五十八集、城山二松亭
10. 28 横山耐雪薦筵、木次西善寺
11. 5 剪淞詩文、第五十三編発行
12. 10 青垣吟社詩会、大津円光寺
12. 20 剪淞詩文、第五十四編発行
- 13 (甲子、1924)
1. 13 第五十九集、信太淞北容膝居詩会
1. 30 剪淞詩文、第五十五編発行
- 1月 安井渚斎没、80歳
2. 17 青垣吟社例会、今市延命寺
2. 27 第六十集、剪淞・青垣両社合同詩会、学頭温泉菩提館
3. 23 第六十一集、剪淞・青垣両社合同若槻克堂歡迎詩会、松崎水亭  
青垣吟社例会、今市延命寺
3. 29 遐觀楼詩会 (野間蘆洲宅)

- 4. 30 剪淞詩文、第五十六編発行
- 5. 27 朝鮮人来遊、湯川温泉で昌子不問と漢詩交流
- 6. 8 第17回山陰詩人大会、石見大田一陽亭
- 6. 11 加藤高明護憲内閣成立、若槻克堂内務大臣
- 8. 3 青垣吟社詩会、小田法蔵寺
- 8. 7 剪淞詩文、第五十七編発行
- 8. 24 永坂石埭没、80歳
- 9. 1 剪淞詩文、第五十八編発行、横山耐雪追悼号
- 9. 13 第六十三集、中秋觀月詩会、末次湖月亭  
青垣吟社觀月詩会、神門寺
- 9. 28 剪淞詩文、第五十九編発行、山陰詩人大会大田大会号
- 10. 6 堀楽山没、72歳
- 10. 20 石川柳城、信太淞北訪問
- 11. 9 第六十四集、柳城歡迎詩会、常盤館  
鱒淵寺、頼源律師碑建立
- 11. 18 柳城名古屋へ帰る（松江での寓居天倫寺）
- 11. 20 剪淞詩文、第六十編発行
- 14 (乙丑、1925)
- 1. 18 剪淞・青垣両社合同新年詩会、宍道湖雲楼
- 2. 12 剪淞詩文、第六十一編発行
- 2. 28 剪淞詩文、第六十二編発行
- 4. 22 治安維持法公布
- 5. 5 普通選挙法成立  
剪淞詩文、第六十三編発行
- 5. 7 剪淞詩文、第六十四編発行
- 7. 31 加藤高明内閣総辞職
- 8. 2 第二次加藤高明内閣成立、若槻克堂、内務大臣
- 9. 20 剪淞詩文、第六十五編発行
- 10. 18 信太淞北発病
- 10. 5 剪淞詩文、第六十六編発行
- 10. 28 剪淞詩文、第六十七編発行  
信太淞北没
- 11. 1 第18回山陰詩人大会、浜田

- 11. 28 信太淞北薦筵、桐岳寺
- 12. 7 剪淞吟社幹部会議、共樂園
- 12. 13 村上琴屋歓迎詩会、百花亭

この年杉原満龍『両契庵詩集』（謄写印刷）刊行？

この年大森柔直没、78歳

この年、樸休堂中国に遊ぶ？

15（丙寅、昭和元、1926）

- 1. 28 加藤高明総理大臣没
- 1. 30 若槻克堂第一次内閣成立
- 2. 7 青垣吟社例会
- 2. 14 剪淞詩文、第六十八編発行  
二月例会、殿町教育会事務所
- 2. 18 渡部桃蹊、県会議員最高点当選
- 4. 3 剪淞詩文、第六十九編発行
- 4月 樸休堂入社
- 5. 7 剪淞詩文、第七十編発行
- 4. 25 第19回山陰詩人大会、鳥取市公会堂
- 5. 10 若槻克堂還暦祝賀詩会、東京芝紅葉館
- 6. 4 並河適処没、67歳
- 6. 13 例会、島根県教育会、松村琴莊来会
- 6. 14 中島秋圃没、70歳
- 6. 30 剪淞詩文、第七十一編発行
- 6月 国府犀東・松村琴莊歓迎会、望湖楼
- 7. 1 郡制廃止
- 7. 1～3 詩学講習会、講師松村琴莊、松江市付属小学校
- 7. 11 剪淞・青垣両社合同詩会、平田愛宕山聚遠亭、琴莊出席
- 8. 1 琴莊送別会、望湖楼
- 8. 21 剪淞詩文、第七十二編発行
- 9. 21 中秋観月詩会、共楽亭
- 9. 29 剪淞詩文、第七十三編発行
- 11. 7 鱒淵寺観楓会
- 11. 14 信太淞北旧蔵書入札販売、島根県教育会
- 11. 15 剪淞詩文、第七十四編発行

- 11. 21 桃節山五十年忌、松江高等女学校
- 12. 24 剪淞詩文、第七十五編発行
- 12. 25 大正天皇没、48歳、昭和天皇踐祚

昭和2 (丁卯、1927)

- 1. 25 剪淞詩文、第七十六編発行
  - 4. 17 若槻内閣総辞職
  - 4. 24 創立二十五周年記念兼中島濠翁米寿祝賀会、望湖楼
  - 5月 例会、田町勝田鶴堂清修楼
  - 6. 19 松田琴潭没、86歳
  - 6. 25 剪淞詩文、第七十七編発行
  - 8. 28 信太孝『淞北夜譚』(信太淞北撰漢文筆記) 刊行
  - 9. 10 月山中秋觀月会、広瀬町洞光寺
  - 10. 18 若槻克堂歡迎詩会、望湖楼
  - 10月 柚木玉村、今市来遊
  - 11. 27 剪淞詩文、第七十八編発行  
        六道木幡山莊要害山吟行
  - 12. 11 例会、島根県教育会
  - 12. 15 剪淞詩文、第七十九編発行
  - 12. 29 松江白濁大火
- この年、第20回山陰詩人大会、大社養神館

3 (戊辰、1928)

- 1. 12 剪淞詩文八十編発行
- 1. 28 澄川正弥『楽山詩鈔』(堀楽山詩集) 刊行
- 1月 剪淞・青垣両社合同新年詩会、菩提温泉
- 2. 1 日本共産党機関紙「赤旗」創刊
- 2月 剪淞詩文、第八十一編発行
- 2. 12 井上三迪『拾翠遺稿』(井上拾翠) 刊行
- 3. 15 三・一五事件、共産党大弾圧
- 3. 21 剪淞詩文、第八十二編発行
- 3. 22 黒部拈華歡迎詩会、望湖楼
- 4. 6 田代活処没、64歳
- 4月 觀桜詩会、安来乗相院
- 5. 3 済南事件

- 5. 6～7 道光上人百年忌、平田法恩寺
- 5. 13 道光上人百年忌追遠詩会、法恩寺
- 5. 28 山東出兵  
大正天皇葬儀
- 5月 剪淞詩文、第八十三編発行
- 6. 10 二聖吟社大会、益田高角神社
- 6. 17 高橋雨窓追悼会、大社祖霊社
- 6. 19 山口習堂没、69歳
- 6. 20 剪淞詩文、第八十四編発行
- 8. 4 例会、出雲海岸巡航詩会、松江・美保・恵曇・松江
- 8. 24 大倉聴松・国分青厓等来遊
- 8. 25 大倉一行歡迎舟遊
- 8. 26 大倉一行歡迎会、臨水亭
- 8. 30 剪淞詩文、第八十五編発行
- 9. 23 第21回山陰詩人大会、倉吉打吹公園有親館
- 9. 28 中秋觀月会、湖月亭
- 10. 29 剪淞詩文、第八十六編発行
- 11. 25 例会、勝田鶴堂静修楼
- 11. 30 剪淞詩文、第八十七編発行
- 12. 31 剪淞詩文、第八十八編発行
- この年、樸休堂没、65歳

#### 4 (己巳、1929)

- 1. 20 剪淞・青垣両社合同新年会並松井柏軒賜杯祝賀会、湯町千歳楼
- 1. 25 剪淞詩文、第八十九編発行
- 3. 13 村上琴屋歡迎会、望湖楼
- 3. 15 剪淞詩文、第九十編発行
- 3. 24 山路石驪没、70歳
- 3月下旬 瀧川君山帰郷
- 4. 17 例会、乃木錦霞莊
- 4. 20 剪淞詩文、第九十一編発行
- 5. 19 水谷虚堂快癒祝賀青垣吟社詩会
- 5. 30 剪淞詩文、第九十二編発行
- 5月 例会、北田町藤間園邸



高橋菊径上京

6. 2 久木村詩談会、久木小学校
  6. 4 福間竹雨没、79歳
  6. 9 例会、奥谷万寿寺
  - 6月 剪淞詩文、第九十三編発行
  7. 1 山路石驪追悼会、益田妙義寺
  7. 14 例会、松江洞光寺
  7. 28 木佐和久没
  8. 19 剪淞詩文、第九十四編発行
  9. 8 例会、島根県教育会館
  9. 17 中秋観月会、望湖楼
  9. 25 松井柏軒『四十五年記者生活』刊行  
生出太癖・矢尾太華歓迎詩会、望湖楼
  9. 30 剪淞詩文、第九十五編発行
  10. 6 第22回山陰詩人大会、望湖楼、生出太癖出席
  10. 13 渡辺春坡没、76歳
  10. 30 剪淞詩文、第九十六編発行  
岩崎亀太郎没
  11. 7 服部宇之吉講演会
  11. 10 福間竹雨追悼会、大田正蔵坊
  11. 30 剪淞詩文、第九十七編発行
  11. 30 剪淞詩文、第九十八編発行
  12. 31 剪淞詩文、第九十九編発行
- 5 (庚午、1930)
1. 12 ロンドン軍縮会議開会、若槻克堂日本首席全権
  2. 9 例会、県教育会館
  2. 15 剪淞詩文、第百編発行
  2. 24 並河独尊没、62歳
  3. 31 剪淞詩文、第百一編発行
  4. 13 例会、床几山裏辻別荘
- 春 後藤松堂、中国旅行
5. 11 例会、県教育会館
  5. 30 剪淞詩文、第百二編発行、印刷所を足立印刷所に変更

6. 8 第23回山陰詩人大会、大田町大田小学校
6. 21 島根県立松江中学校学友会（谷口廻瀾代表）『和漢吟誦名詩選』刊行
6. 30 剪淞詩文、第百三編発行
6. 30 剪淞詩文、第百四編発行
10. 6 若槻克堂歡迎中秋觀月詩会、臨水亭
10. 30 剪淞詩文、第百六編発行
11. 30 剪淞詩文、第百七編発行
- 11月 大西蓬萊、松江に来遊
12. 27 剪淞詩文、第百八編発行
12. 30 並河秀夫『適処遺稿』（並河適処詩集）刊行
- 12月 渡部桃蹊上京
- 6（辛未、1931）
1. 18 剪淞・青垣両社合同新年詩会、玉造暢神亭
1. 31 剪淞詩文、第百九編発行
2. 28 剪淞詩文、第百十編発行
3. 1 例会、普門院
4. 11 若槻克堂、男爵に叙せられる
4. 14 克堂第二次内閣
4. 13 剪淞・青垣両社合同觀桜詩会、神門寺
4. 27 剪淞詩文、第百十一編発行
- 4月 大西蓬萊、松江に遊ぶ？
5. 16 松江大火、青山松琴・足立印刷所罹災
5. 17 国府犀東来松
5. 23 剪淞詩文、第百十二編発行
5. 24 並河独尊追悼会、安来西方寺
6. 14 六月例会、松江洞光寺
7. 23 剪淞詩文、第百十三編発行
8. 1 藤脇雋夫『松軒詩草』（藤脇松軒詩集）刊行
8. 17 谷口廻瀾送別詩会、望湖楼（大連赴任）
8. 19 剪淞詩文、第百十四編発行
9. 17 雨森精翁五十年祭、大社祖靈社
9. 18 満洲事变起こる
- 9月 瀧川君山、文学博士号取得

- 10. 1 剪淞詩文、第百十五編発行
- 10. 28 信太淞北7回忌、桐岳寺
- 11. 23 第24回山陰詩人大会、東郷温泉養生館
- 11. 30 剪淞詩文、第百十六編発行
- 12. 12 若槻克堂内閣総辞職
- 12. 23 例会、薬剂会館
- 7 (壬申、1932)
- 1. 10 剪淞詩文、第百十八編発行
- 1. 24 青垣・剪淞両社合同新年詩会、玉造長楽園
- 2. 8 剪淞詩文、第百十九編発行
- 2. 14 例会、薬剂会館
- 2. 21 青垣吟社例会、今市水谷虚堂宅
- 3. 10 剪淞詩文、第百二十編発行
- 3. 17 門脇雪涯没
- 3. 20 大西蓬萊『権域游草』を刊行
- 4. 24 門脇雪涯追悼詩会、直江町
- 5. 7 剪淞詩文、第百二十一編発行
- 5. 15 五・一五事件、犬養毅首相、青年将校に殺される
- 5. 16 奚疑斎小詩会 (雑賀町高橋菊径宅)
- 5. 29 剪淞吟社立三十周年記念第25回山陰詩人大会、臨水亭
- 6. 13 剪淞詩文、第百二十二編発行
- 7. 15 加島洗心『洗心詩集』刊行
- 7. 24 例会、勝田鶴堂宅独龍亭
- 7. 31 剪淞詩文、第百二十三編発行
- 8. 25 湯の川温泉小詩会
- 8月 青垣吟社例会、小田銀波楼
- 9. 9 剪淞詩文、第百二十四編発行
- 9. 15 中秋小詩会、枕木山海蔵庵
- 9月 右田朧洲没
- 10. 6 村上琴屋没72歳
- 10. 30 剪淞詩文、第百二十五編発行
- 10月 渡辺秋涛没、65歳
- 11. 1 周防田布施の伊藤盤南、雲石来遊 (4日まで)

- 11. 20 村上琴屋追悼会、万寿寺
- 11. 30 剪淞詩文、第百二十六編発行
- 12. 4 青垣吟社例会 湯の川温泉
- 12. 11 例会、望湖楼、社長に渡部桃蹊、編集に堀芙峰を推挙
- 12. 30 剪淞詩文、第百二十七編発行、編集堀芙峰に代わる
- 8 (癸酉、1933)
- 1. 6 剪淞・青垣両社合同新年詩会、湯の川温泉美人泉館、渡部桃蹊社長就任、高橋菊  
径送別
- 1. 17 佐藤江南没
- 1. 28 剪淞詩文、第百二十八編発行
- 1月 菊径、西宮移居
- 3. 3 三陸大津波
- 3. 9 剪淞詩文、第百二十九編発行
- 3. 27 日本国際連盟脱退
- 4. 21 高橋菊径歓迎観桜詩会、望湖楼
- 4月下旬 高橋菊径・渡部桃蹊・朝山大休、湯の川美人泉館滞在
- 4. 29 剪淞詩文、第百三十編発行
- 5. 7 青垣吟社例会、立久恵清遊館
- 5. 21 第26回山陰詩人大会、鳥取炭酸温泉対翠閣
- 5. 25 黒部拈華没
- 6. 4 青垣吟社例会、四纏観音寺
- 6. 8 剪淞詩文、第百三十一編発行
- 6. 11 例会、勝田鶴堂静修楼
- 7. 2 岩本耕石没
- 7. 9 青垣吟社例会、大津円光寺
- 7. 13 社員有志、船通山登山
- 7. 6 例会、大本教松風荘
- 7. 8 勝部其楽没、88歳
- 7. 20 剪淞詩文、第百三十二編発行
- 7. 29 剪淞詩文、第百三十三編発行
- 8. 17 井川収軒没
- 9. 4 富田桃処没
- 10. 2 剪淞詩文、第百三十四編発行

- 10. 4 剪淞・青垣両社合同中秋観月桃処追悼詩会、大津西光寺
- 10. 8 二聖吟社例会 美濃郡吉田盤龍菟裘
- 10. 15 土屋竹雨大社参拝
- 10. 16 土屋竹雨歓迎詩会、臨水亭
- 11. 5 青垣吟社例会、湯の川美人泉館
- 11. 18 其樂追悼会、今市西楽寺
- 11. 23 剪淞詩文、第百三十五編発行
- 11. 26 堀芙峰記録始まる
- 11. 27 堀芙峰、渡部桃蹊を訪問、吟社事務辞退を申し出、桃蹊慰留
- 11. 28 例会、普門院
- 11. 30 安井淳之助『渌齋詩存』（安井渌齋）刊行
- 12. 17 青垣吟社忘年例会
- 12. 23 皇太子明仁親王誕生
- 12. 29 皇太子命名式奉祝例会、放世庵
- 12月 剪淞詩文、第百三十六編発行
- この年但見醒処没、82歳

9（甲戌、1934）

- 1. 21 剪淞・青垣両社合同新年詩会、玉造温泉保性館
- 1. 23 剪淞詩文、第百三十六編発行
- 2. 18 例会、薬剂会館
- 3. 1 愛新覚羅溥儀、満洲皇帝に即位
- 3. 13 前田理軒没
- 3. 25 例会、教育会館
- 4. 5 剪淞詩文、第百三十七編発行
- 4. 15 観桜例会、勝田鶴堂静修楼
- 5. 6 山口松陵没、84歳
- 5. 10 剪淞詩文、第百三十九編発行、社告、堀芙峰吟社事務辞退
- 5. 13 青垣吟社例会、朝山勝定寺
- 5. 20 例会、北堀町松心詩屋（田辺髯龍宅）
- 6. 3 観螢詩会、湯の川美人泉館
- 6. 10 例会、母衣町橘香館
- 6. 21 永井可石没、70歳
- 6. 23 可石葬儀、西伯郡中野村正福寺

7. 12 剪淞詩文、第百四十編発行、堀芙峰編集継続公告
7. 13 谷口廻瀾帰省、東京帝国大学嘱託赴任の途次
7. 14 廻瀾歓迎詩会、望湖楼
7. 19 堀芙峰、廻瀾訪問、剪淞詩文休刊につき合意
9. 27 剪淞詩文、第百四十一編発行、社告、休刊・社費停止・堀芙峰事務取り扱い辞退
11. 9 詩会、勝田鶴堂静修楼
12. 10 例会、大野鉅窓宅
- 10 (乙亥、1935)
1. 20 剪淞・青垣両社合同新年詩会、湯の川温泉美人館
2. 22 例会、津田街道多胡楼
3. 26 例会、床几山三日月屋 (新月亭)
4. 1 若槻克堂、松江帰省
4. 3 床几山克堂銅像除幕式
4. 5 克堂歓迎詩会、臨水亭、
4. 6 克堂帰京
4. 28 第27回 (最終) 山陰詩人大会、松江山田水亭 (八叉亭)
7. 1 足立印刷所より剪淞詩文 (表紙タイトル用) 版木を堀芙峰に返戻
7. 8 堀芙峰、高橋菊径と協議し、剪淞詩文を黒潮社の謄写印刷に変更
8. 3 剪淞詩文、第百四十二編、若槻克堂歓迎号発行、本号及び次号は黒潮社の謄写印刷
9. 1 克堂『海嶽集』(古稀慶祝詩集) 刊行
9. 12 剪淞・青垣両社合同中秋観月詩会、湯の川美人泉館
10. 13 村上琴屋・横山耐雪追悼会、白濁魚町広田水亭
10. 28 剪淞詩文、第百四十三編、山陰詩人大会号発行 (最終号)
11. 18 例会、勝田鶴堂城鴉亭
12. 8 大本教弾圧、出口王仁三郎、松江で検挙される
- 11 (丙子、1936)
2. 26 二・二六事件
4. 13 以後13年6月30日まで堀芙峰記録欠
4. 16 団野蔵六没、70歳
4. 17 剪淞青垣両社合同観桜詩会、玉造長楽園
9. 20 柚木玉村『西爽亭墨縁』刊行
11. 25 並河隆『独尊遺稿』(並河独尊詩集) 刊行
- 12 (丁丑、1937)

- 4. 14 松江中原大火
- 7. 7 盧溝橋事件、日中戦争始まる

13 (戊寅、1938)

- 2. 19 高橋菊径没、83歳
- 3. 25 村上巖男『琴屋詩存』(村上琴屋) 刊行
- 10. 8 剪淞・青垣両社合同中秋観月詩会、玉造湖岸大坂館温泉
- 11. 12 内村鱸香表彰講演会、松江公会堂
- 11. 19 観楓詩会、勝田鶴堂宅
- 12. 23 日本軍南京入城
- この年渡部桃蹊没、86歳
- この年斎藤孤萍没、79歳

14 (己卯、1939)

- 1. 4 近衛内閣総辞職
- 1. 5 平沼内閣成立
- 1. 7 池田索軒没、82歳
- 1. 30 高橋中『菊径詩存』(高橋菊径詩集) 刊行
- 2. 20 詩会、田部髯龍宅
- 3. 6 桑門淡水没、81歳
- 4. 1 国分青厓、松江来遊
- 4. 3 池田索軒葬儀、和多見浄心寺
- 4. 7 国分青厓帰京
- 4. 15 剪淞・青垣両社合同中秋観月詩会、今市東山武志屋山荘
- 5. 26 桑門淡水追悼会、神門寺
- 6. 11 詩会、勝田鶴堂宅
- 7. 19 高橋菊径1周忌
- 8. 20 柚木玉村『玉邨詩謄稿』刊行
- 9. 1 ドイツ軍、ポーランド侵入、第二次大戦勃発
- 9. 16 剪淞・青垣両社合同詩会停止
- 9. 26 中秋観月詩会、城山亀松亭
- 9. 27 日独伊三国同盟調印
- 11. 25 観楓詩会、勝田鶴堂宅

15 (庚辰、1940)

- 3. 30 南京に汪兆銘政権成立

9. 16 中秋観月詩会、二松亭

16 (辛巳、1941)

1. 6 野間退観没、79歳

2. 6 勝田鶴堂没、76歳

2. 10 勝田鶴堂葬儀

3. 28 照宮成子内親王松江訪問

4. 11 田部髯龍没、77歳

4. 13 田部髯龍葬儀

4. 24 秦良軒、堀芙峰訪問、吟社解散を提議、芙峰応ぜず

8. 11 青山松琴没、82歳

8. 12 青山松琴葬儀

11. 1 内鮮融合詩会、臨水旅館、吟社最後の活動

11. 5 柚木玉村『玉邨詩臈稿』覆刊

12. 8 太平洋戦争始まる

17 (壬午、1942)

1. 1 松陽新報・山陰新聞合併、島根新聞と改称

2. 15 シンガポール占領

1. 30 高橋文英、堀芙峰訪問 (芙峰記録最後の記事)

3. 10 谷口廻瀾没、63歳

6. 5 ミドウェー海戦に敗北、戦局傾く

18 (癸未、1943)

2. 1 日本軍ガダルカナル島から敗退

2. 1 スターリングラードのドイツ軍降伏

6. 8 イタリア連合軍に降伏

この年、柚木玉村没

19 (甲申、1944)

3. 5 国分青厓没、88歳

7. 7 サイパン守備隊全滅

9. 27 グアム・テニヤン守備隊全滅

10. 25 特攻攻撃始まる

11. 24 東京初空襲

この年、杵村小雅没、83歳

20 (乙酉、1945)



- 5. 8 ドイツ無条件降伏
- 6. 22 沖縄の日本軍全滅
- 8. 6 広島に原子爆弾投下される
- 8. 9 長崎に原子爆弾投下される
- 8. 15 終戦の詔勅を天皇が放送、戦争終結
- 9. 2 降伏文書調印
- 21 (丙戌、1946)
  - 1. 1 天皇人間宣言
  - 2. 2 瀧川君山没、82歳
  - 4. 23 市立松江図書館、県に移管
  - 5. 2 堀美峰没、70歳、剪淞吟社消滅
- 24 (己丑、1949)
  - 11. 20 若槻克堂没、84歳
- 28 (癸巳、1953)
  - 橋本栗谿没、91歳
- 48 (癸丑、1978)
  - 後藤松堂没、92歳